

編集後記

『言語文化研究』第2号をここにお届け致します。

『言語文化研究』は、昨年度「質を保証した紀要」というコンセプトで刊行されました。本年度もこのコンセプトを引き継ぎ、査読委員の一人には外部査読委員を含めるという査読体制を執りました。採択された2本の論文は、いずれも実践に基づいた研究であり、現場に多くの示唆を与えると思われる。しかしながら、今号は投稿本数が2本と少ない結果となっており、この点は編集委員長として心苦しく思っております。今後はより多くの皆様にご投稿いただけますよう、努力してまいります。

また、私の不慣れな編集・校正作業のため、執筆者の皆様と編集委員各位には、何度も原稿を確認していただき、大変ご迷惑おかけいたしました。来年度はより円滑な校正作業を心がけていく所存であります。

末筆ながら、投稿してくださった複言語・複文化教育センターの先生方、複数本の査読にあたっていただいた編集委員各位、突然の依頼にもかかわらず外部査読に応じていただき、大変丁寧な査読結果をご作成いただいた外部査読委員の先生方、すべての方々に記して感謝申し上げます。

2019年3月

徳田 恵

『言語文化研究』 第2号

2019年3月31日 発行

発行者 明海大学複言語・複文化教育センター
〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目明海大学浦安キャンパス
Tel: 047-355-5111(代表)

代表者 センター長 木山三佳

編集者 明海大学複言語・複文化教育センター紀要編集委員会
徳田 恵

表紙デザイン 株式会社アンシークデザイン

©明海大学複言語・複文化教育センター 2019